

最優秀賞

大切な命を守るために

小郡市立宝城中学校 1年 今村 美結

私は、生まれて十二年間、両親や祖父母など周りの人たちに守られ、支えられてきました。きっとみなさんもそうだと思います。そんな大事な命を交通事故は一瞬でうばってしまいます。そんなことがあっていいのでしょうか。

このところテレビや新聞などでよく取り上げられている出来事があります。それは、交通事故に関するニュースです。登校中の子供の列に車が突っ込んだり、高速道路を車が逆走したりしています。

私は、毎朝自転車に乗って通学しています。朝は、みんな通勤や通学で歩いたり、自動車に乗ったりしています。その朝を、私は一番危険な時間だと考えました。私もそうですが、ほとんどの人が「おくれないように…」と急いでしまうことがあるでしょう。急いでいると、ふだんは見えているはずの人やものや自動車などが見えづらくなったり、いつもは予測できる危険なことを、考える余裕がなくなったりしてしまいます。私の身近でも、こんなことがありました。通学中に、急いでいて、建物で見えない道を、自動車の音がしていないからとカーブミラーで確認しなかったのが、自転車とぶつかりそうになったことがありました。

そこで、私が考えたことは、急がずに時間に余裕をもって行動するということです。私は以前、「おくれないようにと急いで行って事故にあうよりも、安全に行っておくれた方がまし」という話を交通安全教室で聞きました。そのことはもっともだと思いましたが、やはりおくれではいけないので、何よりも大事なものは、時間に余裕をもって行動することだと考えました。また、日ごろの生活の中で、先を見通し、あらゆる場面で起きるかもしれない危険なことを予測して行動できる力を身につけ、自分や相手の大切な命を守ることができるようになりたいと思います。